

日本經濟史

有斐閣雙書

日 本 經 濟 史

永原慶二編



有斐閣双書

入門・基礎知識編

<編者紹介>

ながはら けいじ
永原慶二

1944年 東京大学文学部国史科卒業

現職 一橋大学教授(経済学部)

主要著書

『日本封建制成立過程の研究』(岩波書店)

『日本封建社会論』(東大出版会)

『大名領国制』(日本評論社)

『日本の中世社会』(岩波書店)

『商品生産と寄生地主制』<共著>(東大出版会)

『日本地主制の構成と変遷』<共著>(東大出版会)



有斐閣双書

日本経済史

¥ 1,300

昭和45年10月30日 初版第1刷発行

昭和55年1月30日 初版第18刷発行

編者 ながはら けいじ
永原慶二

発行者 えがき だつ ぶつ
江草忠允

東京都千代田区神田神保町 2-17

発行所 株式会社 有斐閣

電話 東京 (264) 1311 (大代表)

郵便番号 [101] 振替口座東京 6-370 番

本郷支店 [113] 文京区東京大学正門前

京都支店 [606] 左京区田中門前町 44

印刷 株式会社 秀好堂・製本 明泉堂製本所

© 1970, 永原慶二, Printed in Japan

落丁・乱丁本はお取替いたします。

1333-096556-8611

は し が き

「有斐閣双書」の1冊として「日本経済史」をつくってほしいという申し出を受けたのはもう3年ぐらいも前のことである。自分でも長いあいだ日本経済史の講義をつづけてきている経験から、やはり適当にまとめられたテキストがあれば、講義もずっとしやすくなり、能率もよくなるにちがいないと思っていたので、困難は承知のうで引きうけてしまった。

しかしよいよ着手してみると困難は予想したよりもはるかに大きかった。日本経済史を資本主義発達史にだけ限定することなく、全時期にわたって最近の研究成果を能うかぎりもりこんだ高いレベルの叙述にしようとするれば、どうしても時代別の専門研究者の共同執筆ということにしなければならぬ。しかし、そうなると歴史として絶対に必要な全時代を通ずる統一把握、論理の一貫性を確保することはほとんど不可能に近いほど困難なことである。現在の学界状況が、各時代別に細部にまでわたる個別研究を精力的につみあげつつあるとともに、理論構成についても大胆な学説を活発に展開しつつあるかぎりその困難は当然のことである。それはいわば部分部分にわかれて活動し、それぞれに変化しつつあるものを一定の断面で固定し、一つの有機的な生命あるものにまとめあげるという仕事であるから、困難という以上に無理な性質のものであるとさえいわねばならないのである。しかし学問の進歩はあえてそれを試みるところからはじめて実現されてゆくであろう。

分担執筆者が決定した段階で、われわれはこの困難にとりくむため、全体の編別構成などについて徹底的に議論した。たんなる現象記述にとどまらず、各時代の経済の在り方を構造的・理論的にとらえる方向を強く意識

2 は し が き

にとどめつつ、生きた歴史としての発展の筋道についてもはっきりとした一貫性が確認できるようなものにしようというのがわれわれの共通の考え方であった。そのためには余り細部にわたる諸学説の紹介や異説への考慮は本文中ではさけて、それらは補論や脚注にまわし、本文は筆者自身が考えているところを、読者にもできるかぎり理解しやすい形で筋を通して叙述しようと努力した。

以上のような内面的な困難さとともに、本書の執筆にかかったころは、たまたま大学改革の嵐が吹きすさんだ時期に重なった。そのため執筆者の多くはその渦中で執筆の時間を失わざるをえなかった。その結果、脱稿の時期が筆者によっていちじるしく先後し、古代を担当した吉田氏、近代の部の石井氏のように早く執筆を了えた人には大きな迷惑をかけることになったし、有斐閣編集部にもこのような小冊子にしては想像のできぬ程の負担をかけることとなった。

しかし今ようやく、そのようなさまざまな困難をのりこえ、この書物も完成まじかになったことは編者としてこのうえないよろこびである。上梓のうえは、大方のきびしい御叱正をえて、この学問の普及と前進とに本書が少しでも寄与することができればこれにこした幸いはない。

なお本書の製作の全過程を担当された編集部の野村修氏は、長い間われわれをはげましつづけ、また忍耐よく完成のための努力を重ねて下さった。厚く御礼を申し上げる次第である。

1970 年 9 月

永 原 慶 二

有斐閣双書 既刊と続刊

法律・政治

伊藤正己・加藤一郎編
現代法学入門

末川 博編
法学入門

渡辺洋三編
法の常識
<改訂版>

佐藤幸治・田中成明著
*法の考え方

伊藤正己・加藤一郎編
教材法学入門

天野和夫著
法思想史入門

柴田光蔵著
ローマ法の基礎知識

伊藤正己著
憲法入門
<新版>

大西芳雄編
憲法概説

阿部照哉・池田政章編
憲法

- (1) 総論
- (2) 基本的人権1
- (3) 基本的人権2
- (4) 統治機構

綿貫芳源・高原賢治編
憲法 25 講

小嶋和司著
憲法概観
<新版>

宮田 豊・阿部照哉他著
基本憲法

奥平康弘・杉原泰雄編
憲法学
(1) 人権の基礎知識 (4) 統治機構の基礎知識
(2) 基本問題1 (5) 基本問題1
(3) 2 (6) 2
(3) 3 (6) 3

芦部信喜・小嶋和司他著
憲法の基礎知識
一質問と解答一

阿部照哉・池田政章編
憲法判例
<増補版>

佐藤 功編
教材憲法入門

今村成和著
行政法入門
<新版>

杉村敏正編
行政法概説 総論
<改訂版>

杉村敏正編
行政法概説 各論
<改訂版>

成田頼明・荒 秀他著
現代行政法

南 博方・田村悦一他編
行政法

- (1) 行政法総論
- (2) 行政手続・行政訴訟
- (3) 地方自治法

杉村敏正・広岡 隆他著
行政法の基礎知識
一質問と解答一

広岡 隆・室井 力他編
行政法判例
<改訂版>

広岡 隆著
行政代執行法

遠藤博也著
都市計画法 50 講

鈴木祿弥・高原賢治編
土地収用法 50 講

下出義明編
土地地区画整理法 50 講

遠藤 浩・荒 秀他編
建築基準法 50 講

南 博方著
*租税法入門

小松芳明著
法人税法概説

幾代 通・遠藤 浩編
民法入門

谷口知平・於保不二雄編
民法概説

- (1) 総則・物権
- (2) 債権
- (3) 親族・相続

遠藤 浩・川井 健他編
民法

- | | |
|----------|------------------|
| (1) 総則 | (6) 契約各論 |
| (2) 物権 | (7) 事務管理不当利得不法行為 |
| (3) 担保物権 | (8) 親族 |
| (4) 債権総論 | (9) 相続 |
| (5) 契約総論 | |

椿 寿夫著
財産法 25 講
<新版>

島津一郎著
家族法入門

佐藤隆夫著
現代家族法 50 講

奥田昌道・玉田弘毅他編
民法学

- (1) 総論の重要問題
- (2) 物権
- (3) 担保物権
- (4) 債権総論
- (5) 契約
- (6) 不法行為
- (7) 親族相続

幾代 通・鈴木祿弥他著
民法の基礎知識(1)
一質問と解答一

高梨公之・染野義信他著
民法の基礎知識(2)
一質問と解答一

甲斐道太郎・乾 昭三他編
民法判例(1)
一総則・物権一 <新版>

甲斐道太郎・乾 昭三他編
民法判例(2)
一債権一 <新版>

中川 淳・久貴忠彦編
民法判例(3)
一親族・相続一

水本 浩・高木多喜男編
民法 300 題

田中 実編
不動産法概説(1)
—民法篇—

荒 秀・小高 剛編
不動産法概説(2)
—行政法規篇—

鈴木祿弥著
根抵当法の問題点

谷口知平・植林 弘著
損害賠償法概説

五十嵐 清・田宮 裕著
名誉とプライバシー

野村好弘著
自動車事故の民事判例
〈増訂版〉

野村好弘著
医療事故の民事判例

野村好弘著
名誉侵害の民事判例

野村好弘著
学校事故の民事判例

野村好弘著
公害の判例

野村好弘著
日照の判例

太田武男著
夫婦の法律
〈新版〉

太田武男・久貴忠彦著
親子の法律
〈改訂版〉

太田武男著
*相続の法律

久貴忠彦著
判例特別縁故者法

服部栄三・北沢正啓編
商 法
〈改訂版〉

大隅健一郎・大森忠夫編
商法概説(1)
—序論・総則・会社法—

大隅健一郎・大森忠夫編
商法概説(2)
—商行為・手形小切手法等—
上柳克郎・北沢正啓他編

*商法総則・商行為法
商法講義 1

上柳克郎・北沢正啓他編
会社 法(1)
商法講義 2

上柳克郎・北沢正啓他編
会社 法(2)
商法講義 3

上柳克郎・北沢正啓他編
手形法・小切手法
商法講義 4

三戸岡道夫著
株式会社法入門
〈改訂版〉

河本一郎著
約束手形法入門
〈第3版〉

上柳克郎・中西正明編
商法判例(1)
—総則・会社法—

上柳克郎・中西正明編
商法判例(2)
—商行為・手形小切手法等—

今井 宏・神崎克郎他著
コンメンタル会社法(1)
—総則・設立〜新株発行—

今井 宏・神崎克郎他著
コンメンタル会社法(2)
—会社の計算〜有限会社等—

中田淳一編
民事訴訟法概説(1)
—判決手続—

中田淳一編
民事訴訟法概説(2)
—強制執行手続—

青山善充・伊藤 真他著
破産法概説

藤木英雄著
刑 法

平場安治・井上正治他編
刑法概説(1)
—総 論—

平場安治・井上正治他編
刑法概説(2)
—各 論—

福田 平・大塚 仁他編
刑 法
(1) 総 論 1 (3) 各 論 1
(2) 総 論 2 (4) 各 論 2
(5) 各 論 3

福田 平・大塚 仁著
刑法の基礎知識(1)
—総 論—

福田 平・大塚 仁著
刑法の基礎知識(2)
—各 論—

西原春夫・藤木英雄他編
刑 法 学
(1) 総 論の重要問題 1 (4) 各 論の重要問題 1
(2) " 2 (5) " 2
(3) " 3 (6) " 3

藤木英雄編
教材刑法入門

平場安治・宮内 裕編
学説・判例刑法案内
〈新版〉

西原春夫・大谷 実編
刑法 200 題

藤木英雄著
経済取引と犯罪

藤木英雄・土本武司他著
刑事訴訟法入門

松尾浩也・田宮 裕著
刑事訴訟法の基礎知識
—質問と解答—

阿部純二・斎藤誠二他著
*刑事政策入門

佐藤晴夫・森下 忠編
犯罪者の処遇

有泉 亨編
労働法概説
〈新版〉

菊池勇夫・林 迪広編
労働法大意
〈改訂版〉

外尾隆一著
労働法入門

片岡 昇著
労働法(1)
—総論・労働団体法—

片岡 昇著
労働法(2)
—同(2)・労働者保護法—
窪田準人・本多淳亮他著
労働法の基礎知識
—質問と解答—

青木宗也・片岡 昇他編
労働法判例
＜新版＞

外尾健一・花見 忠編
教材労働法入門

中山和久・深山喜一郎他著
* コメントール
労働組合法

花見 忠編
労働基準法 50 講

下井隆史・水野 勝他著
コメントール
労働基準法

花見 忠・保原喜志夫編
労災補償安全衛生 50 講

久保敬治著
労使間の交渉手続

西原道雄編
社会保障法
＜新版＞

佐藤 進編
社会保障法判例

佐藤 進・高沢武司編
児童福祉法 50 講

小野昌延著
不正競争防止法概説

紋谷暢男著
無体財産権法概論

紋谷暢男編
特許法 50 講

吉原省三・紋谷暢男著
* 商標法概説

小野昌延著
* 商標法入門

紋谷暢男編
商標法 50 講

紋谷暢男編
* 意匠法・パリ条約 50 講

半田正夫・紋谷暢男編
* 著作権法 50 講

小田 滋・石本泰雄他編
現代国際法

香西 茂・太寿堂 鼎他著
国際法概説

沢木敏郎著
国際私法入門

藤田 勇・乾 研一他著
* ソヴィエト法概説

松原 一・永井陽之助編
現代政治学入門

勝田吉太郎・山崎時彦編
政治思想史入門

加藤一明・加藤芳太郎他著
行政学入門

齊藤 孝編
国際関係論入門

中村英勝著
イギリス議会史
＜新版＞

経済・経営

大石泰彦編
現代経済学入門
＜増訂版＞

荒 憲治郎・福岡正夫編
経済学

熊谷尚夫・大石泰彦編
近代経済学

(1) 基礎理論
(2) 応用経済学
(3) 近代経済学史

伊東正則・武野秀樹編
近代経済学要論

牛嶋 正・林 敏彦編
* マクロ経済学の基礎

伊東正則・武野秀樹他編
マクロ経済学要論

伊東正則・武野秀樹他編
ミクロ経済学要論

荒憲治郎・稲毛満春他編
経済学

(1) 価格の理論 (4) 経済循環論
(2) 厚生経済学 (5) 所得の理論
(3) 産業組織論 (6) 経済成長論

岡野行秀・根岸 隆編
公共経済学

馬場正雄編
計量経済学入門

置塩信雄著
近代経済学批判

保坂直達・安井修二編
例解近代経済学講義(1)
—マクロ経済学—

藤野志朗・吉村二郎編
例解近代経済学講義(2)
—ミクロ経済学—

宮崎義一編
近代経済学研究入門

大谷竜造・斎藤達彦編
現代経済学研究案内

- 横山正彦編
經 濟 学 概 論
- 手嶋正毅編
經 濟 学 の 基 礎
- 古川 哲編
經 濟 学 要 論
- 宮本義男編
經 濟 原 論
- 杉原四郎・佐藤金三郎編
マルクス経済学
- 富塚良三編
經 濟 分 析 入 門
- 杉本俊朗編
マルクス経済学
研究入門
- 森田優三・竹内 清他編
統 計 学 入 門
- 内海軍一郎・木村太郎他編
統 計 学
<改訂版>
- 大橋隆憲・高木秀文他編
經 濟 統 計
- 奥口孝二・西村和雄他著
* 經 濟 数 学 入 門
- 小林 昇編
經 濟 学 史
- 出口勇藏編
經 濟 学 史 入 門
- 時永 淑編
經 濟 学 説 史
- 田中敏弘・山下 博他著
* 近 代 經 濟 学 史
- 水田 洋編
社 会 思 想 史
- 堀江英一著
經 濟 史 入 門
<第3版>
- 石坂昭雄・船山榮一他著
西 洋 經 濟 史
- 永原慶二編
日 本 經 濟 史
- 後藤 靖・佐々木隆爾他著
* 日本資本主義発達史
- 野田 稔・中村秀一郎編
經 濟 政 策 入 門
<新版>
- 千種義人編
經 濟 政 策
- 神野璋一郎・吉田義三編
經 濟 政 策 論
- 加藤 寛・中村秀一郎他編
經 濟 政 策
(1) 経済政策の原理
(2) 日本の経済政策
(3) 日本の産業政策
- 百々 和・野尻武敏他編
經 濟 政 策 総 論
- 尾上久雄編
經 濟 体 制 論
- 金子敬生編
産 業 連 関 分 析
- 宮川公男編
シ ス テ ム 分 析 概 論
—政策決定の手法と応用—
- 越後和典編
産 業 組 織 論
- 新野幸次郎・伊東光晴編
寡 占 經 濟 論
- 一瀬智可・大島国雄他編
公 共 企 業 論
- 福地崇生編
地 域 經 濟 学
- 山田浩之編
都 市 經 濟 学
- 江見康一・塩野谷祐一編
日 本 經 濟 論
—経済成長100年の分析—
- 美濃部亮吉・御園生 等編
日 本 經 濟 入 門
<第2版>
- 小尾恵一郎編
日 本 經 濟 分 析 入 門
- 宮下武平編
日 本 産 業 論
- 伊東俊吉・小林義雄他編
工 業 經 濟 論
- 藤田敬三・竹内正巳編
中 小 企 業 論
<新版>
- 加藤誠一編
中 小 企 業 問 題 入 門
- 川上正道・上原信博著
農 業 政 策 論
<新版>
- 増井健一・佐竹義昌編
交 通 經 濟 論
- 中西健一・平井都士夫編
交 通 概 論
- 角本良平著
都 市 交 通 政 策 論
- 早川和男・和田八東他編
住 宅 問 題 入 門
- 田村 茂・石川常雄他著
金 融 論 入 門
- 三宅義夫著
金 融 論
- 竹村脩一・玉野井昌夫編
金 融 經 濟 論
<新版>

黄健一著
貨幣論

矢尾次郎・川口慎二編
金融政策入門
＜新版＞

紅林茂夫・東米雄他編
銀行論入門
—日本の金融と銀行—
高木暢哉編
銀行論

川合一郎・一泉知永編
証券市場論
＜改訂版＞

伊牟田敏充・熊野剛雄他著
証券經濟論

木村栄一・庭田範秋編
保險概論

庭田範秋編
保險經營論

長崎正造著
損害保險論入門

木村栄一編
損害保險論

庭田範秋編
生命保險論

牛嶋正・米原淳七郎編
財政學入門

肥後和夫編
財政學要論
＜新版＞

木下和夫・肥後和夫他編
財政學
(1) 財政の理論
(2) 日本の財政
(3) 日本の地方財政

高橋誠・柴田徳衛編
財政學

木下和夫編
財政政策入門

吉岡健次・和田八束編
現代地方財政論

米原淳七郎著
地方財政學

恒松制治・橋本徹編
都市財政概論

橋本徹・宇田川璋仁編
福祉財政論

相原光・土屋六郎編
國際經濟學入門
＜新版＞

水田博・名和献三編
國際經濟論

行沢健三編
入門國際經濟學

松井清著
世界經濟入門
＜増訂版＞

小野一郎・吉信康編
南北問題入門

宇高基輔編
社會主義經濟論

木下悦二編
貿易論入門
＜新版＞

新庄博著
國際金融論

村野孝・松村善太郎編
國際金融
—通貨と制度—

小野朝男・西村閑也編
國際金融論入門

幸田精蔵編
外國為替論入門

木村滋著
外國為替論

岸本英太郎編
社會政策入門
＜改訂版＞

矢島悦太郎編
社會政策概論

吉村朗夫・戸木嘉久編
現代社會政策

岸本英太郎編
勞働經濟論入門

小野旭・南亮進編
勞働經濟論

近藤文二編
社會保障入門
＜新版＞

小山路男・佐口卓編
社會保障論
＜新版＞

西村幹通編
勞働者福祉論

黒住章・中鉢正美他編
老齡保障論

佐口卓著
医療保險論

坂井信行編
現代經營學入門

中村常次郎編
經營學
＜増訂版＞

馬場克三編
經營學概論

岡村正人編
經營學總論

高柳曉・飯野春樹編
經營學
(1) 總論
(2) 管理の理論と實際
(3) 演習

米川伸一編
經營史

原 輝史編
* フ ラ ン ス 経 営 史

田杉 競編
経 営 管 理 総 論

松岡啓木編
経 営 管 理 論
<改訂版>

丹波康太郎編
財 務 管 理 概 論

細井 卓著
財 務 管 理 入 門

後藤幸男・森 昭夫編
経 営 財 務

森 五郎編
労 務 管 理 論
<増訂版>

海道 進・島 弘編
現代労務管理概論

藤田 忠編
人 事 管 理

人見勝人著
生 産 の 計 画 理 論

涌田宏昭編
経 営 情 報 論

片岡信二著
コ ン ピ ュ ー タ 入 門
ハード・ソフト・システム

森下二次也編
商 業 概 論

石坂昭雄・諸田 実他著
* 商 業 史

深見義一・佐藤 肇他編
流 通 問 題 入 門

久保村隆祐・高城 元編
小 売 流 通 入 門

深見義一編
マ ー ケ テ ィ ン グ 論
<増訂版>

マーケティング・
サイエンス研究会編
マ ー ケ テ ィ ン グ 調 査

久保村隆祐・村田昭治編
広 告 論

鈴木忠義編
現 代 観 光 論

飯野利夫編
現 代 会 計 学 入 門
<新版>

山崎忠恕編
会 計 学
<改訂版>

青木茂男編
管 理 会 計 概 論

久保田音二郎編
管 理 会 計

久保田音二郎編
原 価 会 計

大即英夫・君塚芳郎他著
原 価 計 算

高田正淳編
監 査 論
<改訂版>

大山政雄編
機 械 会 計 論

社会・その他

日本社会学会編集委員会編
現 代 社 会 学 入 門
<第2版>

福武 直・浜島 朗編
社 会 学

山根常男・森岡清美編
現代社会学の基本問題

浜島 朗編
* 社 会 学 史

福武 直・松原治郎編
社 会 調 査 法

安田三郎著
社会調査ハンドブック
<新版>

武蔵真介著
社 会 統 計 学

萬成 博・杉 政孝編
産 業 社 会 学

佐藤 毅編
社 会 心 理 学

安田三郎編
現代日本の階級意識

姫岡 勲・二岡隆美編
教 育 社 会 学

浜島 朗編
現 代 青 年 論

森岡清美編
家 族 社 会 学

青井和夫・松原治郎他編
生 活 構 造 の 理 論

岩井弘毅編
都 市 社 会 学

中村八朗著
都市コミュニティの社会学

日本犯罪社会学会編
犯 罪 社 会 学

日高六郎・佐藤 毅他編
マス・コミュニケーション入門

千葉雄次郎編
マス・コミュニケーション要論

高木教典編
* マス・メディア産業論

蒲生正男・祖父江孝男編
文化人類学

吉田禎吾・蒲生正男編
社会人類学

大橋 薫編
社会病理学

大橋 薫・大藪寿一編
都市病理学

大橋 薫・四方寿雄他編
家族病理学

湯沢彦彦編
老年学入門

一番ヶ瀬康子・真田 是編
社会福祉論
<新版>

吉永 清・今岡健一郎他編
社会福祉概説

小松源助編
ケースワーク論

一番ヶ瀬康子編
児童福祉論

山口 透編
少年保護論

平尾 靖編
非行一補導と矯正教育

星野貞一郎・藤村 哲他編
障害福祉入門

水島恵一編
人間科学入門

水島恵一著
人間学

水島恵一著
人間学の実践

末永俊郎編
現代心理学入門

大山 正・詫摩武俊他著
心理学
<第2版>

実島文夫・安香 宏他著
心理学要論

柿崎祐一他編
心理学

- (1) 知覚・認知 柿崎祐一編
- (2) 学習・思考 牧野達郎編
- (3) 動機づけ・ 金沢辰夫編
- (4) 情緒 斎賀久敬編
- (5) 人格 吉田正昭編
- (6) 発達 祐宗省三編
- (7) 社会心理 星野 命編
- (8) 家族心理 河合肇雄編
- (9) 産業心理 岡本夏木編
- (10) 三宅和夫編
- (11) 辻 正三編
- (12) 中村陽吉編
- (13) 古畑和幸編
- (14) 小嶋秀夫編
- (15) 森清善行編
- (16) 長山泰久編

* (8) 産業心理
大山 正・池田 央他編
心理測定・統計法

河内十郎・深田芳郎著
* 生理心理学の基礎

沢田慶輔・小口忠彦編
教育心理学

小口忠彦・辰野千寿編
教育心理学原論

波多野龍余夫・久原恵子著
入門教育心理学

北尾倫彦・杉村 健編
児童学習心理学

依田 明・永野重史著
* 入門児童心理学

深谷昌志・深谷和子著
現代子ども論

上出弘之・伊藤隆二編
知 能

津留 宏編
青年心理学

岡堂哲雄編
家族心理学

安藤瑞夫編
産業心理学

山田雄一編
組織心理学

平尾 靖編
犯罪心理学

梅津耕作編
自閉児の行動療法

梅津耕作編
* 自閉児の治療教育

山崎正一・田島節夫編
現代哲学入門

沢田允茂編
哲学

城塚 登編
西洋哲学史

城塚 登編
社会思想史入門

荒川幾男・生松敬三編
近代日本思想史

堀米庸三編
現代歴史学入門

井上光貞編
日本史入門

西嶋定生編
東洋史入門

井上幸治編
西洋史入門

勝田守一編
現代教育学入門

中内敏夫編
教育学概論

吉田 昇・長尾十三三他編
教育学

- * (1) 教育原理
- * (2) 中等教育原理
- (3) 近代教育思想
- (4) 日本教育史
- (5) 教育方法
- * (6) 教科教育と教材

道 喜美代・渡辺ミチ編
政治家学

金田利子著
乳幼児保育論

久松潜一著
日本文学史通説

中西 進編
上代日本文学史

木村正中編
中古日本文学史

有吉 保編
中世日本文学史

神保五弥編
近世日本文学史

三好行雄編
近代日本文学史

三好行雄・竹盛天雄編
近代文学

- (1) 黎明期の近代文学
- (2) 明治文学の展開
- (3) 文学的近代の成立
- (4) 大正文学の諸相
- (5) 現代文学の胎動
- (6) 昭和文学の実質
- (7) 戦後の文学
- (8) 近代の詩歌
- (9) 現代の詩歌
- (10) 文学研究の主題と方法

山崎俊雄編
現代自然科学入門

白井俊明著
無機化学入門

小辞典シリーズ

伊藤正己・阿部照哉他編
憲法小辞典

阿部 斉・内田 満編
現代政治学小辞典

浜島 朗・竹内郁郎他編
社会学小辞典

大山 正・藤永 保他編
心理学小辞典

*印は近刊
—以下逐次刊行—

目 次

序 章 日本経済史の課題と方法	1
経済史学における各国経済史 (1) 日本経済史の対象・範囲 (2)	
日本経済史の方法 (4)	
【参考文献】	6
第1章 階級の発生と共同体の変質	9
1 農耕の開始と階級の発生	9
先土器時代の日本 (9) 原始共同体の成立 (10) 水田農業の伝 来と普及 (11) 農業共同体の成立 (12) 階級の発生 (14) 政治 社会の成立 (16)	
2 部民制と屯倉田荘的土地所有	17
国家の成立 (17) 日本古代国家の特質 (19) 部民制の発展 (20) 屯倉田荘的土地所有 (22) 人民の成長 (23) 古代専制国 家の動揺 (24)	
☐ 補 論	26
(1) 先土器時代と縄文文化の起源年代 (26) (2) 日本古代の最 初の階級関係の歴史的な性格 (27) (3) 日本古代の国家の起源を めぐる論争 (27) (4) 古代専制国家を成立せしめている社会構 成体の歴史的な性格 (28)	
【参考文献】	29
第2章 古代社会の経済構造	31
1 律令的土地所有と奴隸制	31

2 目 次

律令国家の成立 (31) 律令的土地所有 (32) 条里制 (33) 律令的土地所有の問題 (34) 人民の負担 (35) 階級分化の進展 (37) 総体的奴隷制と奴隷制 (39)

2 律令制社会の経済構造 41

経済構造の概観 (41) 手工業生産の発展 (42) 交易の発展 (44) 高利貸(出挙)の盛行 (46) 富豪層 (47) 初期荘園の成立 (49)

□ 補 論 51

(1)大化の改新論争 (51) (2)8世紀の家族構成と階級分化の歴史的性格をめぐって (51) (3)律令制社会の歴史的性格 (51) (4)有力家父長 (52) (5)初期荘園の労働力 (52)

【参考文献】 52

第3章 古代社会の転換と封建化 55

1 律令制の解体 55

国家的土地所有制の動揺 (55) 收取体系の転換 (56) 農民層の分解 (58) 私領の形成 (59) 領主制の生成 (61)

2 荘園制の成立と構造 62

寄進の盛行 (62) 荘園制の成立 (64) 荘園制下の領主農民関係 (67) 荘園領主経済と收取体系 (69) 荘園制下の手工業と流通 (70)

□ 補 論 72

(1)農奴制の成立をめぐる争点 (72) (2)荘園制の性格規定をめぐる論争 (73)

【参考文献】 74

第4章 前期封建社会の経済構造 75

1 在地領主制の発展..... 75

鎌倉幕府の成立と在地領主制 (75) 荘園領主と在地領主の対抗
(76) 農奴制支配の進展 (78) 貨幣流通の拡大 (79) 荘園制
の衰退 (81)

2 大名領国制の形成とその経済構造 83

室町幕府と守護領国制 (83) 日明・日鮮貿易の展開 (84) 社会
分業の進展と商業資本の蓄積 (86) 封建的階級分解と土一揆
(87) 戦国大名領の形成 (89) 大名領国経済の構造 (91)

☐ 補 論 93

(1) 荘園制解体過程のとらえ方について (93) (2) 日本封建社
会の画期について (93)

【参考文献】 94**第5章 後期封建社会の経済構造** 97**1 織豊政権の経済政策** 97

ポルトガル船の来航 (97) 統一の必然性 (98) 信長領国の特徴
(100) 秀吉政権と兵農分離体制 (102)

2 小農経営と幕藩領主的土地所有 103

封建支配確立の途 (103) 太閤検地 (105) 石高制 (108) 村切
り (110) 夫役・地方知行 (111) 新田開発 (113) 近世村落の
成立 (114)

3 幕藩制社会の経済構造 116

初期豪商 (116) 朱印船貿易・糸割符 (118) 領国制 (119) 藩
財政の成立 (121) 城下町 (122) 畿内棉作 (124) 大坂商業
(125)

4 目 次

☒ 補 論	127
-------------	-----

太閤検地論争 (127)

【参考文献】	128
--------------	-----

第6章 小商品生産の展開129

1 質地小作関係の展開	129
-------------------	-----

農業生産の発展 (129) 質地小作関係の展開 (130) 質地流禁
令・質地騒動 (132) 重秀と白石の政策 (134)

2 特産物生産の展開	136
------------------	-----

特産物と畿内農村 (136) 特産物生産の展開 (137) 吉宗の経
済政策 (140)

3 「豪農」の形成	142
-----------------	-----

小商品生産の展開 (142) 「豪農」の成立 (143) 村役人の交替
(145)

4 幕藩制的経済構造の解体	147
---------------------	-----

田沼期の経済政策 (147) 藩政の改革 (148) 天保期の状況
(150) 国訴・打毀し (151) 開港前段階の動向 (153)

☒ 補 論	154
-------------	-----

天保期前後における経済的変動の評価について (154)

【参考文献】	155
--------------	-----

第7章 明治維新157

1 開国と幕末の経済政策	157
--------------------	-----

世界資本主義の成立 (157) 開港と外国貿易 (159) 開港の影
響 (161) 国民的市場の形成 (163) 農民層分解と寄生地主制